

第6回 産業技術大学院大学デザインコンテスト を実施 未来のデザイナーたちへの挑戦： 世界に通用する「新しい」デザインを考えよう！

産業技術大学院大学は、本学の創造技術専攻が取り組んでいる「デザインとエンジニアリングでものづくりにイノベーションを」について広くアピールし、創造的なものづくりやアイデアを発掘することを目的として、第6回デザインコンテストを実施します。

本年度は、本年6月のAPEN（アジア高度専門職人材育成ネットワーク）理事会でアジアにおける高度専門職人材教育機関の発展の必要性が合意されたことを受けて対象を拡大。初めて公募範囲をAPEN 加盟大学所在地であるアジア地域（11か国）にまで広げた国際的なコンテストを実施します。

■公募テーマ

「流れ」

流れること、流れるように連なって動くもの、思想や流行などを受け伝えること、など“流れ”には、多くの意味が含まれます。デザインをするうえで、“時代の流れ”、“人の流れ”、“モノの流れ”、“情報の流れ”などは重要なファクターと考えられています。「流れ」というテーマをもとに、感性デザインと機能性デザインの知識を駆使して、これまでのプロダクトをリデザインする、あるいは、全く新しい観点や発想でデザインするなど、新しいコンセプトをもった創造的で合理的な、実現性の高い提案を期待します。

■賞

最優秀賞 1点（賞状、副賞30万円相当）

佳作 若干（賞状、副賞5万円相当）

■応募作品など

テーマにあった新規アイデアに基づく作品。詳細は本学 Web サイトに掲載する募集要項をご覧ください。

■応募資格

- ① 産業デザインに関心を持ち、全国の大学院、大学、短期大学、高等専門学校（本科、専攻科）、専門学校で学んでいる学生
- ② APEN 加盟大学が所在する国の高等教育機関に在籍する学生

■応募受付期間

平成24年11月9日（金）～11月30日（金）【必着】

■発表

平成25年1月下旬を予定

詳細は本学ホームページをご覧ください。

<http://aiit.ac.jp/>

aiit

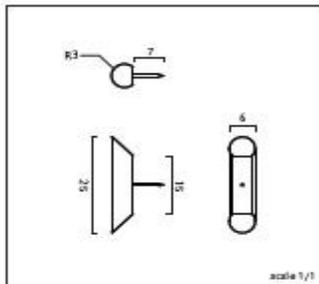
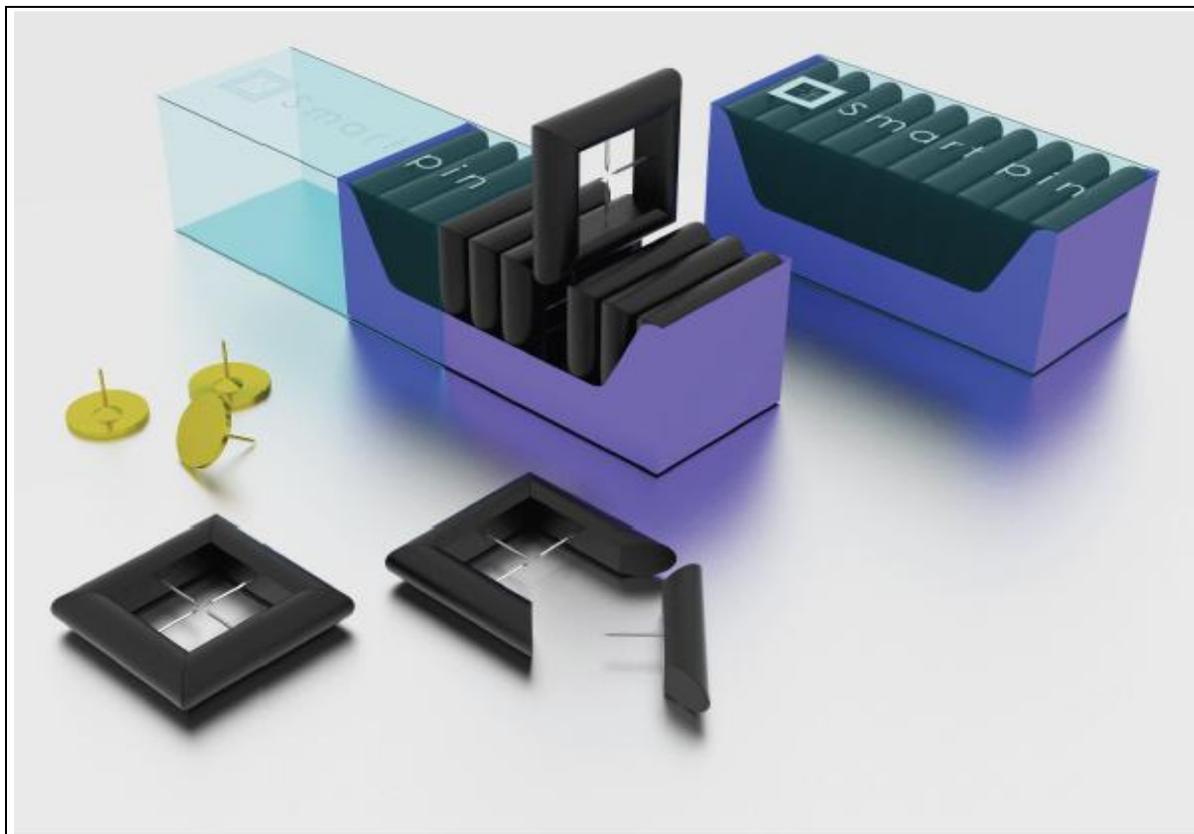
← 検索はこちら

【問い合わせ先】産業技術大学院大学 管理部管理課
電話 03-3472-7832

第5回 最優秀賞作品 (平成23年度)

「Smart pin」 ～安全に保管できる画鋲の提案～

山下 慶太 (京都工芸繊維大学大学院 修士1年[受賞時])



 Smart pin

画鋲を使って壁にポスターなどを貼る場合、たいてい四隅にそれらをとめます。このことから4つの画鋲を1セットと考えました。

これにより使っていないときは針同士が内側を向き、安全です。また画鋲の背中部分にRをつけることで、針が上を向いて地面に転がっている状況をなくします。収納もきれいに箱に収めることができ、取り出す時に手に針が刺さる恐れもありません。

画鋲の断面に磁石を埋め込み、4つの画鋲を固定します。

APEN (アジア高度専門職人材育成ネットワーク) について

APEN (会長 石島辰太郎) は、大学 (大学院) 教育における高度産業人材開発方法として優れている **PBL (Project Based Learning) 型教育を発展**させ、かつ**アジアに普及**することを目的として、産業技術大学院大学が主導して 2011 年 6 月 6 日に設立された国際組織です。

現在、加盟大学数は 11 校、11 か国 (日本、中国、韓国、ベトナム、カンボジア、インドネシア、タイ、マレーシア、ラオス、シンガポール、フィリピン) となっており、事務局は、産業技術大学院大学が務めています。

本年 4 月には **ASEAN 10 か国の経済閣僚等及び ASEAN 事務次長が来日し、本学及び都立産業技術高等専門学校の視察**を行いました。これは ASEAN 経済閣僚と日本の政官財界とが意見交換等を行う「ASEAN ロードショー」の一環として APEN の呼びかけに応じ実現したものであり、複線型人材育成ルートの一つである都立産業技術高等専門学校から本学へとつながるものづくり人材 9 年間一貫教育の現場を視察することより、統合型高度専門職人材育成システムに関し、活発な意見交換が行われました。

また、本年 6 月には **第 2 回 APEN 理事会及び産業人材開発セミナーをカンボジア (プノンペン) にて開催**しました。APEN 理事会では、アジアにおける高度専門職人材教育機関の発展に関する基本原則を定めた「プノンペン宣言」を採択し、今後 APEN として、その具体的な検討、実施を「プノンペン・プロセス」として進めていくことに合意を得ました。産業人材開発セミナーでは、APEN 加盟大学が各国 (大学) の高等教育システムについて報告し、活発な意見交換が行われました。



ASEAN10 か国経済閣僚等の視察の様子 (平成 24 年 4 月)